

ユネスコ世界寺子屋運動へ協力しました

有馬高校は日本ユネスコ協会連盟が実施している発展途上国の教育支援のための「世界寺子屋運動」に書き損じはがきを集めて贈ることで協力をしました。

年末の全校集会で生徒会長から生徒に年賀状などの書き損じはがきを集める旨の呼びかけをして年明けに生徒会が中心になって各クラスに回収箱をおいて書き損じはがきを集めました。その結果、短期間で 150 枚近くの書き損じはがきが集まり、2月1日に厚木ユネスコ協会の副会長さんに贈呈しました。

このはがきは現在世界中に約 5,800 万人いる学校へ行けない子供たちや約 6 億人いる文字の読めない大人の人たちの教育支援に役立ててもらうことになります。

また、この運動を進めるにあたり1年生の「情報」の教科のなかで世界の識字問題について学んだり、その知識を基に書き損じはがき集めのための広報ポスターを作製したりしました。

生徒たちはこうした活動をしながらユネスコスクールとして世界の教育問題についての学びを深めています。

